















高度催吐性リスクの注射抗がん薬に対する制吐療法





	1日目 (抗がん剤投与前)	2日目	3日目	4日目
アプレピタントカプセルセット(3日分) (内服不可などの場合は アロカリス滴静注235mg)	125mg内服 	80mg内服 	80mg内服 	
	点滴 			
グラニセトン点滴静注1mg/50mL	点滴 			
オルガドロン注射液	点滴 	デカドロン内服 (3日間) 		

中度催吐性リスクの注射抗がん薬に対する制吐療法

	1日目 (抗がん剤投与前)	2日目	3日目	4日目
グラニセトン点滴静注1mg/50mL	点滴 			
オルガドロン注射液	点滴 	デカドロン内服 (3日間) 		

※場合によっては中度催吐性リスクでもアプレピタント、アロカリスの使用あり

低度催吐性リスクの注射抗がん薬に対する制吐療法

	1日目 (抗がん剤投与前)	2日目	3日目	4日目
オルガドロン注射液	点滴 	デカドロン内服 (3日間) 		

※最小度催吐性リスクでは通常、予防的な制吐療法は行っていない